

老人の専門医療を考える会 第34回全国シンポジウム  
～どうする老人医療これからの老人病院（Part34）～

## 医療と介護の「絆」を考えるⅢ ～介護の現場から医療に期待する～

社会保障制度は、誰のためにあるのか？何のためにあるのか？それを再確認しなければならない時期を迎えました。中でも、医療と介護の連携や「医療的ケア」に代表される協働・役割分担の考え方など、様々な課題を正面から向き合う時期とも言えます。当会では、昨年より「医療と介護の『絆』を考える」をテーマに、「再確認」の場を提供し、シンポジウムだけでなく、多くの皆様のご意見をいただきました。その中でとてもご意見の多いのが、敷居の高さや壁を感じやすい介護サービス提供者の医療（医師）に対するイメージです。今回のシンポジウムではどうしても躊躇しがちなお互いのバリア抜きで話し合いたいと思っています。私たちは何のために誰のためにこの仕事を選んだのか？参加者全員が「再確認」して、明日への一歩を踏み出せることを期待しています。もちろん、一般の方々、メディアの皆さんにとっても実り多いシンポジウムになるでしょう。

尚、現在進められている社会保障審議会介護保険部会に団体の代表ではなく、長く介護保険制度にかかわってきたことを理由？に委員として出席しています。シンポジウムの開催時期は、その部会の「まとめ」のタイミングですので、私見を含めてご報告したいと考えています。ぜひご参加下さい。

老人の専門医療を考える会  
会長 齊藤正身

### 開催概要

- ◆日時 平成22年11月27日（土）13：30～16：30
- ◆場所 東京研修センター
- ◆参加費 無料

### プログラム

- 13：30 開会挨拶：齊藤正身（老人の専門医療を考える会 会長）
- 13：35 講演「介護保険部会の審議から」 齊藤正身（介護保険部会委員）
- 14：15 休憩
- 14：25 プレゼンテーション（1）「特別養護老人ホームの立場から」  
奈良高志（文京大塚みどりの郷 施設長）
- 14：40 プレゼンテーション（2）「ケアマネジャーの立場から」  
崎山賢士（日本介護支援専門員協会居宅介護支援事業所部会会長）
- 14：55 プレゼンテーション（3）「小規模多機能施設の立場から」  
佐野真一（鶴巻高齢者複合施設ケアタウンあじさいの丘 居宅サービス部次長）
- 15：10 プレゼンテーション（4）「グループホームの立場から」  
長井卷子（医療法人社団三草会 在宅支援統括事業部副部長）
- 15：25 休憩
- 15：40 シンポジウム  
座長 齊藤正身 シンポジスト シンポジスト（プレゼンテーション講師4名）
- 16：30 閉会挨拶

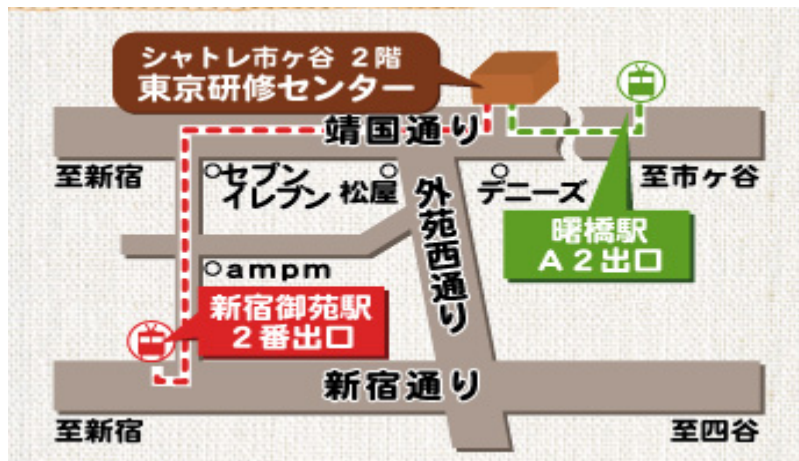
総合司会：大川博樹（老人の専門医療を考える会 事務局長）

主催 老人の専門医療を考える会

〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5 シャトレ市ヶ谷 2階

TEL : 03-3355-3020 FAX : 03-3355-3633

E-mail info@ro-sen.jp ホームページ <http://ro-sen.jp/>



#### シンポジウム会場

東京研修センター

TEL.03-3355-5677

#### 電車でお越しの場合

##### ●地下鉄

丸ノ内線「新宿御苑前」2番出口 徒歩8分

都営新宿線「曙橋駅」A2出口 徒歩8分

(お車での来場はご遠慮下さい)

申込方法：下記に、代表者お名前、ご連絡先、参加人数等をお書きの上、FAXでお申し込み下さい。

またはE-mailでのお申し込みも可能です。(info@ro-sen.jp)

お申し込み後は、当日直接会場受付までお越し下さい。

## 第34回全国シンポジウム11月27日(土) FAX申込書

➤ FAX送信先：03-3355-3633 (老人の専門医療を考える会)

参加人数：合計 ( ) 名

複数参加の場合お名前を下記へ  
ご記入下さい。

代表者以外のご参加者名：

(ふりがな)

代表者お名前：

代表者ご所属：

代表者ご住所：

(〒 - )

お電話番号：